



## 一般的な指示: 実験試験

実験試験は5時間で合計20点です。

試験の開始と終了は試験監督が指示します。試験開始の指示の前に問題の入っている封筒などを開けてはいけません。開始から1時間ごとの経過時間、終了15分前、および終了時は、試験監督からアナウンスされます。

### 試験中:

- 提供されたペンのみを使用してください。図/スキーム（構想、計画を図にしたようなもの）/グラフの下書きに鉛筆を使っても構いませんが、その場合は、答案のスキャンが上手くいくように、最終版では、アウトラインをペンでなぞるようにしてください。
- 専用のアンサーシート（A マーク）は、最終的な解答を記入したり、グラフを描いたりするために用意されています：問題文にあるように、必要な観測値を適切な表やボックスに記入し、対応するグラフを描いてください。詳細な作業を行うために、白紙のワーキングシート（W マーク）が用意されています。ワーキングシートを使用するには、必ず小問番号を明記し、現在取り組んでいる大問のワーキングシートを使用してください（上部（ヘッダー）の大問の番号を確認すること）。採点されたくないことを書いた部分には、× を付けてください。すべてのページの表側のみを使用し、境界線の外側には何も書かないでください。
- 白紙のシートが足りない場合は、試験監督者に求めてください。支給されたシートのヘッダーには、国コードと学生コード（ワーキングシートと同じもの）、大問番号、小問番号、ページ番号を明記してください。
- 解答はできるだけ簡潔に書いてください：できるだけ数式や論理演算子、スケッチなどを使って自分の考えを説明してください。長い文章は避けてください。
- 誤差（不確かさ）の計算は、明確に要求されていない限り必要ありません。ただし、数字を記載する際には、適切な有効数字の桁数で記載してください。また、データポイントの数や測定のリターン回数、特に指示がない限り、自分で決めてください。
- 前の問題を解かなくても、後の問題が解けることがあります。
- 試験中はすべて録画されています。許可なくその場を離れることはできません。トイレに行きたくなったり、その他の支援（余分なシートやペン、水やスナックの追加）が必要な場合は、試験監督に伝えてください。

### 試験終了時:

- 試験終了のアナウンスがあったら、すぐに筆記を止めなければなりません。
- 終了後、各大問ごとに対応するシートを次の順序で重ねてください：一番上にカバーシート、その下にアンサーシート（A）、ワーキングシート（W）の順に重ねてください。さらにその下に白紙や余ったシートをまとめてください。これらのシートは、試験監督によってスキャンされ、サーバーにアップロードされます。
- 1つの大問に属するすべてのシートを同じ封筒または書類フォルダーに入れてください。ただし、この一般的な指示シート（G）と問題シート（Q）は、封筒または書類フォルダーに入れずに直接、机の上に置いてください。
- 試験監督から許可が出たら、試験会場から外へ出ることができます。試験会場から何も持ち出ししてはいけません。